

# 会 議 結 果 報 告 書

会議名 (審議会等名)	令和5年度大野中地区まちづくり会議(第1回全体会)		
事務局 (担当課)	大野中まちづくりセンター 電話042-741-6695 (直通)		
開催日時	令和5年4月20日(木) 午後7時00分～午後8時30分		
開催場所	大野中公民館1階 大会議室		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)	
	その他	2人	
	事務局	2人	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			

# 審 議 結 果

## 1. 開 会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 南区長あいさつ

## 4. 新委員の紹介

大野中地区小学校PTAから榎本委員、大野中地区中学校PTAから大塚委員、大野中地区地域包括支援センターから高下委員が、新たに委員に就任したことを報告した。

## 5. 議 題

(1) 『旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会』の状況報告について事務局から、資料に沿って説明をした。

(2) 『令和5年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』に向けた検討についてA～Cの3グループに分かれて、防災をテーマにグループ討議を実施した。

### ○各グループの発表内容

#### 【Aグループ】

- ・大規模な地震が発生すると、木造住宅が多く、倒壊する家屋が多いのではないかな。その際、どこに避難するか、日常的に分かるようにできたらよいのではないかな。
- ・自分で避難できない方には、共助として、地域の力が必要になるが、避難できていない人が誰なのか、情報共有を図るためのルール作りが必要ではないかな。
- ・平日に地震が発生した際は、中学生等がマンパワーを発揮して、通学の際に、助けを求める目印があれば、手助けするような取組みも必要ではないかな。
- ・こうした事を中心に担当する防災リーダーが必要ではないかな。

#### 【Bグループ】

- ・小学校では、防災教育としてフェイアースクールを実施しているが、若い力を活用すべく、学校における防災教育をもっと行った方がよいのではないかな。
- ・大野中地区は、古いマンションが多いが、市は耐震性を把握しているのか。また、そこに住む高齢者は避難できるのか。
- ・避難所に避難者が入りきらない場合、避難場所等の広いスペースを活用して、アウ

トドア用のテントを張れば、避難できる人も増えるのではないか。

**【Cグループ】**

- ・大きな火災の時に水がないと困るが、どこにどれだけ水を確保しているかわからないため、そうした情報をハザードマップとして作って欲しい。
- ・確保している水を、消火の際に使えるよう設備の点検はしているのか。
- ・広域避難場所は、広いだけで何もない様に思われるので、テントや毛布等の必要な資機材が備えられているのか。
- ・災害はいつ起こるかわからないが、若い中学生等が一番活躍できると思うので、地域の防災訓練に小・中学生に参加してもらえたらよい。
- ・住民が安全に避難して暮らせるよう、行政は縦割りなので、横の連携を意識して取り組んでいただけるとよい。

6. その他

(1) 各団体の情報提供・情報交換について

大野中地区交通安全母の会の古賀委員から、道路交通法の改正に伴い、ヘルメット着用が努力義務化された旨の周知がされた。

(2) 大野中地区まちづくり会議の委員変更時の報告について【再掲】

事務局から資料に沿って説明がされた。

(3) 令和5年度の会議日程について【再掲】

事務局から資料に沿って説明がされた。

6. 閉会あいさつ

田村副会長から閉会のあいさつがされた。

以上

## 大野中地区まちづくり会議委員名簿

(まちづくり会議委員の役職：会長◎、副会長◇)

No	推薦団体名	役職等	氏名	備考
1	大野中地区自治会連合会	会長	◎森 逸雄	出席
2	大野中地区社会福祉協議会	会長	◇新國 満	出席
3	大野台公民館	館長	◇高安 祥介	欠席
4	大野中地区商店会	代表	◇田村 小次郎	出席
5	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	◇堤 道子	出席
6	大野中地区老人クラブ連合会	会長	◇臼倉 昭夫	欠席
7	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛	出席
8	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子	出席
9	大野中地区自治会連合会	副会長	大浦 一人司	出席
10	大野中公民館	館長	大久保 宗俊	出席
11	大沼公民館	館長	佐藤 純	出席
12	大野中地区子ども会育成連絡協議会	代表	大谷 喜一郎	出席
13	大野中地区青少年指導委員	代表	野口 裕光	欠席
14	大野中地区スポーツ推進委員	代表	佐伯 美鈴	出席
15	大野中地区小学校PTA	代表	榎本 保則	出席
16	大野中地区中学校PTA	代表	大塚 由佳	出席
17	大野中地区健康づくり普及員	代表	後藤 伊津子	出席
18	大野中地区ボランティアグループ	代表	上林 眞由美	出席
19	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介	欠席
20	大野中地区交通安全母の会	代表	古賀 幸枝	出席
21	大野中地区連合自主防災隊	代表	稲毛 一利	欠席
22	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也	出席
23	大野中地区企業(大野台事業所協議会)	代表	藤崎 英人	欠席
24	大野中地区地域包括支援センター	代表	高下 英則	出席

令和5年度 大野中地区まちづくり会議【第1回全体会】 次第

日時：令和5年4月20日（木）午後7時

場所：大野中公民館 大会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 南区長あいさつ

4. 新委員の紹介

5. 議 題

(1) 『旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会』の状況報告について

【直近の状況】

3月 6日：要望内容の調整（第3回委員会）

3月10日：市に要望書を提出

3月28日：市から要望書に対する回答書を受領（第4回委員会）

(2) 『令和5年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』に向けた検討について

テ ー マ：防災について

検討方法：グループ討議（別紙参照）

※懇談会開催日（予定）

令和5年11月1日（水）又は11月2日（木）18：00から

6. その他

(1) 各団体の情報提供・情報交換について

(2) 大野中地区まちづくり会議の委員変更時の報告について【再掲】

(3) 令和5年度の会議日程について【再掲】

7. 閉会あいさつ

大野中地区まちづくり会議委員名簿

No	推 薦 団 体 名	役職等	氏名	会の役職	備考
1	大野中地区自治会連合会	会長	森 逸雄	会長	
2	大野中地区社会福祉協議会	会長	新國 満	副会長	
3	大野台公民館	館長	高安 祥介	副会長	
4	大野中地区商店会 (大野中地区商店連合会)	代表	田村 小次郎	副会長	
5	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	堤 道子	副会長	
6	大野中地区老人クラブ連合会	会長	臼倉 昭夫	副会長	
7	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛		
8	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子		
9	大野中地区自治会連合会	副会長	大浦 一人司		
10	大野中公民館	館長	大久保 宗俊		
11	大沼公民館	館長	佐藤 純		
12	大野中地区子ども会育成連絡協議会	会長	大谷 喜一郎		
13	大野中地区青少年指導委員 (大野中地区)	代表	野口 裕光		
14	大野中地区スポーツ推進委員 (大野台地区)	代表	佐伯 美鈴		
15	大野中地区小学校PTA (大沼小学校PTA)	代表	榎本 保則		変更
16	大野中地区中学校PTA (大野台中学校PTA)	代表	大塚 由佳		変更
17	大野中地区健康づくり普及員 (大野中地区)	代表	後藤 伊津子		
18	大野中地区ボランティアグループ (ボランティア・ネットこもれび)	代表	上林 眞由美		
19	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介		
20	大野中地区交通安全母の会	会長	古賀 幸枝		
21	大野中地区連合自主防災隊	代表	稲毛 一利		
22	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也		
23	大野中地区企業(大野台事業所協議会) (マルマテクニカ株)	代表	藤崎 英人		
24	大野中地区地域包括支援センター (大沼地域包括支援センター)	代表	高下 英則		変更

# 要 望 書

旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会

『旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会』は、旧東清掃事業所跡地を（仮称）南部学校給食センター（以下、「学校給食センター」という。）の最も有力な候補地としている旨の説明を、令和4年10月24日に市からいただいたことを契機として、地域でその対応を協議するため、大野中地区自治会連合会及び大野中地区まちづくり会議を母体として、令和5年1月17日に発足しました。

また、同日の本委員会において、市から「跡地活用の基本的な考え方（案）」として、跡地に学校給食センター及び多目的広場を設置したい旨、改めてご説明をいただき、2月7日及び3月6日開催の本委員会においても、追加説明をいただいたところです。

本委員会では、市の説明を踏まえて、令和4年3月4日提出の「旧東清掃事業所の跡地利用に係る要望書」の内容とともに検討した結果、地域住民にとって、安全・安心で住みよいまちづくりを更に進めるため、別紙のとおり要望いたします。

つきましては、本要望書に対する市の考え方を踏まえて、改めて市の考え方に対する賛否等の検討をしたいと考えておりますので、長年に渡って、施設の臭気等の衛生問題や清掃車の往来による交通問題、隣接する市営斎場からの異臭等に悩まされ、我慢しながら暮らしてきた地域住民の思いをご賢察いただき、各要望事項に対する現時点の実現可能性等について、ご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年3月10日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会

委員長 森 逸雄





# 要 望 事 項

## 1 多目的室の設置等について

- ア. 学校給食センターの施設に、地域住民が広く活用できる多目的室（600㎡程度）を併設すること。
- イ. 多目的室は、行政より地域団体が優先使用できるようにすること。
- ウ. 多目的室を2階以上に整備する場合は、物品の搬入出や高齢者・障害者等のためにエレベーターを設置すること。

## 2 芝生の多目的広場の設置等について

- ア. 学校給食センター以外の用地には、芝生の多目的広場を設置すること。
- イ. 将来、多目的広場用地の売却のほか、行政課題の解決等のため、新たな公共施設の設置や他の目的に転用を図る必要性が生じた際は、事前に地域住民に丁寧な説明をして、十分な理解を得ること。

## 3 防災機能の整備・拡充について

- ア. 多目的広場は、隣接する古淵鶴野森公園と一体的に広域避難場所に指定すること。
- イ. 大規模災害時に学校給食センターを避難所として開放できるようにすること。
- ウ. 炊き出し用の資機材、災害用発電機（燃料又はソーラー式）及び飲料水兼用耐震性貯水槽を跡地に整備すること。
- エ. 跡地内の既存の井戸を災害時に活用できるようにすること。

## 4 周辺道路等の整備について

- ア. 跡地活用による新たな交通需要に対応するとともに、通学路にもなっているため、市道淵野辺中和田線のグリーンスタンプ(株)前の歩道を整備すること。
- イ. 周辺道路の渋滞解消のため、市営斎場前交差点に横浜方面からの右折レーンの設置などを検討すること。

## 5 バイパス等の整備について

- ア. 市営斎場の関係車両等により交通渋滞が発生しているため、古淵むつみ自治会周辺住民の車両が、市道淵野辺中和田線にスムーズに出られるよう、跡地内にバイパスの整備等の必要な措置を図ること。

## 回 答 書

令和5年3月10日付け要望書について、各要望事項に対する現時点での市としての方向性について別紙のとおり回答いたします。

今後、必要な事項について、地域の実情のほか市の財政状況や将来負担等も踏まえつつ、具体化に向け貴検討委員会とともに更に検討を進めてまいりたいと考えておりますのでご理解、ご協力の程お願いいたします。

令和5年3月28日

旧東清掃事業所跡地に係る地域住民検討委員会

委員長 森 逸雄 殿

相模原市長 本村 賢太郎



## 1 多目的室の設置等について

- ア. 学校給食センターの施設に、地域住民が広く活用できる多目的室（600㎡程度）を併設すること。
- イ. 多目的室は、行政より地域団体が優先使用できるようにすること。
- ウ. 多目的室を2階以上に整備する場合は、物品の搬入出や高齢者・障害者等のためにエレベーターを設置すること。

学校給食センターの機能や公共施設マネジメントの考え方との整合を図りながら、設置に向けて、規模や運用方法などを検討します。広さについては構造上、600㎡は難しいものと考えています。

## 2 芝生の多目的広場の設置等について

- ア. 学校給食センター以外の用地には、芝生の多目的広場を設置すること。
- イ. 将来、多目的広場用地の売却のほか、行政課題の解決等のため、新たな公共施設の設置や他の目的に転用を図る必要性が生じた際は、事前に地域住民に丁寧な説明をして、十分な理解を得ること。

新たな公共施設の設置等が図られるまでの間は、多目的広場としての利用に向けて、地域と共に具体的な整備・活用内容を検討し、市として実現可能な整備を行います。

将来、他の目的に転用を図る必要性が生じた際は、地域の皆さまの十分な理解に努めます。

### 3 防災機能の整備・拡充について

ア. 多目的広場は、隣接する古淵鵜野森公園と一体的に広域避難場所に指定すること。

地域の防災体制の強化に向け地域と共に検討します。

イ. 大規模災害時に学校給食センターを避難所として開放できるようにすること。

高度な衛生管理が必要な施設であり避難所としては困難ですが、避難場所の拡充など地域の防災体制の強化に向け、地域と共に検討します。

ウ. 炊き出し用の資機材、災害用発電機（燃料又はソーラー式）及び飲料水兼用耐震性貯水槽を跡地に整備すること。

炊き出しは学校給食センターが実施し各避難所へ提供する予定です。  
「3-イ」の状況を踏まえ、避難の形態や資機材の活用方法など課題について協議します。

エ. 跡地内の既存の井戸を災害時に活用できるようにすること。

跡地内の井戸は学校給食センターの建設予定の位置となる可能性が高いことから活用は困難ですが、現在も公園に引き込んで使用している井戸について、生活用水としての使用適否や設備の状況などの調査を行います。

#### 4 周辺道路等の整備について

ア. 跡地活用による新たな交通需要に対応するとともに、通学路にもなっているため、市道淵野辺中和田線のグリーンスタンプ（株）前の歩道を整備すること。

新たな土地利用計画などが提出された段階で建築主と協議します。

イ. 周辺道路の渋滞解消のため、市営斎場前交差点に横浜方面からの右折レーンの設置などを検討すること。

学校給食センター設置後の影響を踏まえ、交通量を調査し、県警などと協議を行います。

#### 5 バイパス等の整備について

ア. 市営斎場の関係車両等により交通渋滞が発生しているため、古淵むつみ自治会周辺住民の車両が、市道淵野辺中和田線にスムーズに出られるよう、跡地内にバイパスの整備等の必要な措置を図ること。

学校給食センターを設置した場合の地域への車両の入り込みなどの影響や財政負担、都市計画変更など、課題について協議します。

# グループ討議について

○テーマ『防災について』

○以下のA～Cのグループに分かれて、30分程度、話し合ってください。

○「まちづくりを考える懇談会」で、市と懇談したい防災の具体的な内容について、グループ毎に2～3個程度、ピックアップしてまとめてください。

○場 所：Aグループ⇒大会議室奥側 Bグループ⇒大会議室入口側  
Cグループ⇒コミュニティ室

○発表者と書記を決めてください。

○グループ討議終了後、大会議室に集まり、発表を行っていただきます。

グループ	推 薦 団 体 名	役職等	氏名	会の役職	備考
A	大野中地区自治会連合会	会長	森 逸雄	会長	
	大野中地区老人クラブ連合会	会長	白倉 昭夫	副会長	
	大野中地区自治会連合会	副会長	大浦 一人司		
	大野中地区子ども会育成連絡協議会	会長	大谷 喜一郎		
	大野中地区小学校PTA (大沼小学校PTA)	代表	榎本 安則		
	大野中地区ボランティアグループ (ボランティア・ネットこもれび)	代表	上林 眞由美		
	大野中地区連合自主防災隊	代表	稲毛 一利		
	大野中地区地域包括支援センター (大沼地域包括支援センター)	代表	高下 英則		
B	大野中地区社会福祉協議会	会長	新國 満	副会長	
	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	堤 道子	副会長	
	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛		
	大野中公民館	館長	大久保 宗俊		
	大野中地区青少年指導委員 (大野中地区)	代表	野口 裕光		
	大野中地区中学校PTA (大野台中学校PTA)	代表	大塚 由佳		
	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介		
	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也		
C	大野台公民館	館長	高安 祥介	副会長	
	大野中地区商店会 (大野中地区商店連合会)	代表	田村 小次郎	副会長	
	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子		
	大沼公民館	館長	佐藤 純		
	大野中地区スポーツ推進委員 (大野台地区)	代表	佐伯 美鈴		
	大野中地区健康づくり普及員 (大野中地区)	代表	後藤 伊津子		
	大野中地区交通安全母の会	会長	古賀 幸枝		
	大野中地区企業(大野台事業所協議会) (マルマテクニカ㈱)	代表	藤崎 英人		

(参考) 防災に関するキーワード  
(グループ討議用)

例)

- ・ 防災教育
- ・ 防災マイスター
- ・ 防災訓練
- ・ 防災補助金
- ・ 避難所、広域避難場所等
- ・ 市地域防災計画、大野中地区防災計画
- ・ 災害時の防災体制（地域側・市側）
- ・ 災害時要援護者支援
- ・ 企業等との災害時支援協定
- ・ ハザードマップ（洪水・浸水・土砂災害）
- ・ 災害時協力井戸登録制度

# (参考) 防災に関する主な動き

## ○相模原市総合防災訓練（地域会場訓練）の実施

- 日 時：令和3年11月7日（日）午前8時から12時まで  
場 所：大野小学校（校庭及び屋内運動場）  
参加者：181名  
内 容：各種訓練（初期消火訓練、AED操作訓練、震度体験訓練、  
煙体験訓練）  
避難所開設・運営訓練（大野小学校避難所運営協議会）

## ○大野中地区防災計画の見直し（令和4年4月改定）

### 【 主な見直しの内容 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の取組の追加
- ・ 東海地震から南海トラフ地震への用語の修正
- ・ 災害対策基本法の改正に伴う避難情報等の修正
  - 警戒レベル3 「避難準備・高齢者等避難開始」 → 「高齢者避難」
  - 警戒レベル4 「避難指示（緊急）」 「避難勧告」 → 「避難指示」
  - 警戒レベル5 「災害発生情報」 → 「緊急安全確保」

## ○大野中地区防災連絡会の開催（令和5年2月14日）

- （主な意見等） 災害時の救急体制、避難所と学校の連携、  
公民館の防災機能、防災に対する危機意識 等

## ○関東大震災から100年 ～あの日を忘れずに、その日に備える～

別紙参照（横浜地方気象台HPから抜粋）



## 大野中地区の各避難場所・避難所・救護所

種 類		内 容	場 所
避難場所	一時避難場所	災害時、一時的に避難する場所	・自治会が指定
	広域避難場所	延焼火災で、地域内では身の安全が確保できないときに避難する場所	・古淵鵜野森公園 ・相模原ゴルフクラブ
	風水害時避難場所	洪水や土砂災害から身の安全を守るために一時的に避難する場所	・大野小学校 ・若松小学校 ・鵜野森中学校 ・大野中公民館 ・大沼公民館 ・大野台公民館
避 難 所		災害等によって被災し、自宅で生活が送れない市民を受け入れるための場所	・大野小学校 ・大沼小学校 ・大野台小学校 ・大野台中央小学校 ・若松小学校 ・大野台中学校 ・鵜野森中学校
救 護 所		災害発生時に救護所で負傷者の応急措置などの医療救護活動を行う	・大野小学校 ・大沼小学校
一時滞在施設		大地震等により、鉄道、バス等の公共交通機関が停止し、帰宅困難者が発生した場合に、一時的に滞在できる施設	・ブックオフ研修センター ・アパホテル〈相模原古淵駅前〉

# グループ討議 発表用メモ用紙

テーマ「防災について」

見出し	内 容

(記入例)

見出し	内 容
世代間を超えた地域防災の体制づくり	災害に強いまちづくりを図るために、中学生などの若い力を活かし、世代間を超えた地域防災の体制づくりが重要なため、生徒への防災教育、学校と地域との連携、若い力を活かしたボランティア活動などについて、市の考えや取組状況等を踏まえて、懇談したい。

まちづくり会議の任期は、令和4・5年度の2年間ですが、任期途中の令和5年度に各団体の代表者等の変更があり、それに伴って、まちづくり会議の委員が変更になる場合は、本推薦書を事務局にご提出ください。(変更がない場合は提出不要)

令和5年 月 日

大野中地区まちづくり会議  
会長 森 逸 雄 殿

団体名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

令和5年度大野中地区まちづくり会議委員推薦書

次の者について、令和5年度大野中地区まちづくり会議委員として推薦します。

団体名		団体役職	
ふりがな			
氏名			
住所	(〒      —      )		
連絡先	電話：		
	FAX：		
	メールアドレス：		

※ 変更する場合には、推薦書を提出する前にご連絡ください。  
なお、委員の交代月などについて、確認させていただきます。

提出先	まちづくり会議事務局（大野中まちづくりセンター内） 永井 TEL：042-741-6695（団体専用） FAX：042-746-1835
-----	---

## 令和5年度 まちづくり会議日程表

	日付	時間	会場	会議	主な内容
	令和5年 4月20日(木)	19時～	大野中公民館 大会議室	第1回 全体会議	・懇談会のテーマに係る内容検討(グループ討議)
	令和5年 7月13日(木)	19時～	大野中公民館 大会議室	第2回 全体会議	・懇談会のテーマに係る内容検討(全体討議)
→変更後	令和5年 9月14日(木)	19時～	大野中公民館 大会議室	第3回 全体会議	・懇談会のテーマに係る資料確認(最終) ・懇談会の役割の確認 など
★	令和5年11月初旬頃予定	19時～	大野中公民館 大会議室	大野中地区まちづくりを考える懇談会	懇談会開催
	令和5年 12月7日(木)	19時～	大野中公民館 大会議室	第4回 全体会議	・懇談会振り返り ・次年度懇談会のテーマの検討 など
	令和6年 2月1日(木)	19時～	大野中公民館 大会議室	第5回 全体会議	・次年度懇談会のテーマの検討 など